

インフォシス、ソフトウェア・キャリア・トレーニングをデトロイトのウェイン・カウンティ・コミュニティ・カレッジに導入

第一線のソフトウェア・トレーニングを意欲的な現地開発者に提供

2012年3月19日(デトロイト、米国): 本日、コンサルティングとテクノロジーのグローバル・リーダー企業であるインフォシスと米国のウェイン・カウンティ・コミュニティ・カレッジ(WCCCD)は、世界的に有名なインフォシスのソフトウェア開発トレーニング・プログラムをデトロイトの技術者を対象に18週間で実施すること、そしてその最初のクラスが終わったことを発表しました。このプログラム終了後には、インフォシスやその他競合他社が参加する就職説明会も実施されます。

ソフトウェア・エンジニアリング・ブーツ・キャンプは、インフォシスとWCCCDのユニークなパートナーシップの賜物です。インフォシスは、そのソフトウェア・トレーニング・プログラムと企業大学で有名ですが、その社内トレーニングを、デトロイトの首都圏に在住し、急成長しているテクノロジー分野で新しい就職の機会を求める人々に提供することになりました。

独立系リサーチ会社(フォーレスター・リサーチ)によると、ダイナミックに変化するテクノロジー・ランドスケープにおいては、プログラマーや技術者は常に最新の技術スキルや業界スキルが求められます。フォーレスターの最新レポートでは、グローバル教育センターを有するインフォシスは、最新の社員トレーニング方法を採用している、と報告されています。⁽¹⁾

「インフォシスとのパートナーシップは、ウェイン・カウンティ経済において重要かつ成長著しい分野に優れたキャリア・パスを確立する機会と捉えています。」と、WCCCD知事のCurtis L. Ivery博士は述べています。「インフォシスのような大手グローバルIT企業と提携できることは素晴らしい機会です。同社のトレーニングによって、これまで以上に多くの人々が将来性のある情報技術分野でキャリアを構築できることになります。」

「今回デトロイトに対し、スキルを備えたソフトウェア開発者を育成するためのトレーニング・プログラムを提供することになりました。」と、インフォシスの取締役兼北米代表アショク・ベムリは述べています。「トップクラスのソフトウェア開発者を育てるためのキャリア・トレーニングを参加者とデトロイト市に提供できることを喜ばしく思っています。」

ソフトウェア・エンジニアリング・ブーツ・キャンプはインフォシス・グローバル教育センターで開発された初心者対象のソフトウェア・エンジニア育成手法です。新しい情報技術ハブとして注目をあびるデトロイトの中で、ミシガン州南東におけるトレーニングの教育パートナーとしてウェイン・カウンティ・コミュニティ・カレッジが選定されました。インフォシスは、今回のイニシアチブを持続するため、今後数回のプログラムにおいてWCCCDトレーナーにサポートを提供し、トレーニング参加者の増加を支援します。

「このプログラムは、トレーニングに参加する人達の生活向上への足掛かりとなるだけでなく、地域経済の成長分野に高度なスキルを備えた人材を提供する機会となるでしょう。」とIvery博士は述べています。「このようにお互いにとってメリットのあるWin-wins形式は私達のミッションの基本です。インフォシスと協力して実施される重要なプログラムに参加できることを誇らしく思っています。」

フォーブス誌による「世界で最も革新的な企業10社」に選ばれたインフォシスは、Fortune 500企業に対して、米国、欧州、インド、中国、その他世界中の64カ所の事業所と68カ所の開発センターからサービスを提供しています。WCCCDはミシガン州最大の都市コミュニティ・カレッジであり、5つのキャンパスに約7万人の学生が在籍しています。

⁽¹⁾ 出典: フォーレスター・リサーチによる「The Importance Of Evaluating Your Vendor's Training Capability: What You Need To Know」(2011年9月29日)

WCCCDについて

WCCCDは、ミシガン州最大の都市コミュニティ・カレッジであり、5ヶ所のキャンパスを有している。大学センターと Michigan Institute for Public Safety Education（MIPSE）は500平方マイルの地域における32の都市にサービスを提供している。WCCCDは、継続的な新規プログラムの開発、コミュニティに根差したセッションの開催、学生対象の設備やサービスの改善を行っている。詳しい情報についてはホームページをご覧ください。

www.wcccd.edu.